

月	対象	(領域) テーマ	目的	開催日	時間	
9月	レベルⅢ 対象Ⅱ	がん看護領域 放射線看護 長期研修	放射線看護について学び、自部署で実践でき、自部署の看護師に放射線治療看護を指導できる人材を育成する		実践の中での演習となります。日々の業務をしながら実践につなげていけるよう1-2週間ごとに担当者と一緒に振り返り、患者支援の方法をに検討します。	時間外講義 9-10月に1-2回 30分程度
	レベルⅡ 後期 Ⅲ相当	がん看護領域 アピアランスケア 長期研修	外見変化が予測されるがん治療の知識を習得し、看護実践及び指導ができる看護師を育成する	10月・11月のがん看護委員会 前の45分企業による説明あり	講義は基本吹き込みスライドの各自視聴	
		がん看護領域 疼痛看護 長期研修	がん患者に限らず、疼痛を抱えている患者に対して、鎮痛剤の知識を基盤とした看護実践ができる看護師を育成する	提供した知識を基にした日々の実践サポート。12月にがん看護委員会前30分研修あり	講義は基本吹き込みスライドの各自視聴	
	全て	抗がん薬の血管外漏出	抗がん薬の血管外漏出について理解し対応ができる	29日	60分 時間内研修を検討	
10月	レベルⅢ	感染症治療に役立つ検体採取と結果の見方	感染症治療に関連する基礎知識の再確認し、看護実践につなげることができる	25日	時間外 60分	
	レベルⅡ	術後せん妄	周期における術後せん妄の要因を理解し、正しいリスクアセスメントと予防対策が実施できる	9月28日	45分	
11月	レベルⅡ	DST研修会① 「高齢者の特徴と転倒予防」	認知症高齢者の転倒予防と高齢者特有のサルコペニアと栄養管理について学び、予防対策について考える。	11月24日	60分	
	レベルⅢ	コラボ研修 「正しいポジショニングが出来るまで帰れまテン！」	褥瘡発生と誤嚥予防のポジショニングの看護実践に繋げることができる		90分 時間外	
1月	全て	コラボ研修 「嚥下評価の実際」	嚥下評価を正しく理解し、看護実践に繋げることができる。	25日	90分 時間外	
	時短 人者	認知症看護 「認知症対心力向上研修」	認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識を修得する (大阪市 研修標準カリキュラムに沿って実施)		90分	
2月	全て	認知症看護 DST研修会② 「疾患と薬剤」	疾患と薬剤、認知症看護(内容検討中)			

	対象	テーマ	目的	開催日	時間
コラボ	全て	オムツ	オムツの構造を知り正しく装着できる	8月	60分
	レベルⅢ・Ⅰ	術後看護	術後侵襲を理解し、実践に活かす	7月10日	60分
	レベルⅡ以上	術後せん妄	周期における術後せん妄の要因を理解し、正しいリスクアセスメントと予防対策が実施できる	9月28日	45分